

2021/7/21-3

(オマケの英語教室) 書庫版

Sit down



3年ほど前、うちの日本語教室にインド人の青年が通っていた事がありましたが、入塾してまもなくの頃、講義に来た折に自分が

「どうぞお座りください」

という意味で

Please sit down here

といたら

Thank you, I'll settle down here

と彼は答えました。

「んっ？」

と思った自分は

Settle down? What?

と聞き返しました。

すると彼は、

Settle down means that it contains more calmly and more relax sitting nuance. Then I want to stay here on that mode, I'm appealing

(settle down の意味は、単に座るというよりは、もっと落ち着いてくつろいで座るという意味合いがあるのです。だから自分はここでのレクチャーをそんな感じで受けたいなあと言いたかったんですよ)

と説明してくれました。

そういえば昔外人さんが自分のペットに「お座り」というのを

Calm down and stay here

とっているのを耳にした事がありました。

どちらかという「お座り」より「落ち着きなさい」みたいな感じでした。

犬にさえそうだとすると

Sit down

では、犬にも使わない言葉

「おすわりっ！！」

を人に言っているのと同じですよ、とその青年は言いたかったのかもしれませんが、そんな事を言うと喧嘩になりそうだと察して、敢えて違う説明をしたのかもしれないと思いました。

そういえば settle を語幹に使った言葉で settlement というのがありますが、これは設立とか建立以外に「植民地」という意味があるのだそうです。

そう書いたからと言って此处での議論は言わずもがなですが「植民地がいいか悪いか」では当然なく、言葉の原義の話として settlement の語幹が settle であり、そこからの派生形が settlement である事を考えて併せてみると

Settle には

「根を生やす」「腰を据えてかかる」

という意味合いがありそうです。

植民地というのは入ってこられる側はそれこそ大迷惑なのですが、入っていく方にしても本国の「エライさん」はいざ知らず実際に入る現場の人間は入植に当たりそれこそ

「その地に骨を埋める（根を生やす）」程の覚悟を決め「腰を据えてかかる」積りであったらう事を思うと、それはそれで大変だったのだらうなあと推察する次第です。

なので、その青年が使った settle down という言葉が sit down の婉曲な訂正ではなく、言葉通りであったとすれば

「この教室で腰を据えて日本語を学びたい」

という意味を伝えたかったのかもしれませんが。

残念ながら彼は所定期間内に就労ビザが取れずに帰国し、現在では母国で結婚した奥さんと厳しいコロナ状況下、共に奮闘努力していると聞いております。

入り口の location から最後は思いもよらず settle down に流れ着いてしまいました。要するに申し上げたい事は二つです。

一つは、

単語を覚えるには事務的に覚えるより感想や印象、エピソードを伴って、つまり何かを感じて覚えた方がしっかり覚えられるし記憶も引き出し易いと言う事。

今一つは単語の語幹は何か？その原義は何か？

等、元々の意味がどのようにして生まれ、どのようにして展開、発展、派生していったかを調べたり想像したりしてみる事はとても役に立つのでは、と言う事を申し上げたかっただけで御座います。